

チーム部門

選者 大森静佳氏 小島なお氏

図書館で君と手と手がふれあつた 恋かどうかは表紙で決まる

宮城県気仙沼高等学校 1年 石原莞奈

ビートでもある金賞のコロッケを詰めれば楽園は作れそう

名古屋高等学校 1年 井上蒼太

まだうまく鳴らせませんが私という楽器は風に吹かれています

神奈川県立光陵高等学校 3年 猪野田涼奈

見つめれば流れないけど見返せばもう移つてる 時つて雲だ

神奈川県立光陵高等学校 1年 宇山龍

次こそは正解だと蹴る石が時空を超えて君に会えない

延岡学園尚学館高等部 2年 帯谷到子

楽しいねって手を繋がれて言われたら変声期越しの声が出てきた

茨城県立結城第二高等学校 2年 木下侑

弦楽器みたいに張り詰めた人のひとつ結びがほどかれていた

星野高等学校 1年 関口和奏

「楽しい」とないかなあ」を拾ってくれる 消しかす集める手のように

高田高等学校 2年 高取ゆり

ばあちゃんのばあちゃんのママの墓表には桜の花が一輪ついてる

神奈川県立光陵高等学校 2年 永井穂果

※掲載順は順不同です

入選

革靴を踏み鳴らしてた君でした腕のシャーレに時間を飼つて

富山県立富山中部高等学校 2年 中村昌樹

表面はツルツルとして欄間から刺す光みたい あなたの恋は

静岡県立沼津東高等学校 1年 濱田栄

文字を打つ度に紅茶が息を吸う 時間は河口のように揺らめく

神奈川県立光陵高等学校 2年 藤井綾音

でも確かに時刻表には載つていらない蛹の最期のような夕立

神奈川県立光陵高等学校 2年 森岡千尋

表情のうそもほんとも受け止めて雨の名前を君に教える

延岡学園尚学館高等部 2年 森山文結

個人部門

選者

大森 静佳氏
小島なお氏

うつそうと茂る故郷の杉を見てあなたに会いたい恋心重る

鳥取県立鳥取東高等学校 2年 芦谷 佳音

床上にアルキメデスのすばらめし円周率はまだまだ続く

星野高等学校 2年 新井 咲那

サングラスをかけてる間は悪だから白鳥達にエサを投げてゐる

神奈川県立光陵高等学校 1年 石井 桃衣

ありがとう言わないと症候群の発作を起す三月の私

愛知県立時習館高等学校 1年 市川 満ちる

もう大人予備軍なんだと気がついて海の青さがつんと漂う

神奈川県立光陵高等学校 3年 猪野田 涼奈

でたらめな願いを人に認められる星は降るべき夜を選んで

栃木県立大田原高等学校 3年 植木 光太郎

かの星が遠い昔の遺跡ならこの鍵穴もないかもしれない

海城高等学校 2年 大山 圭一朗

生い茂る森のどこくに豊かなる母の帽子の影が伸び行く

星野高等学校 1年 小倉 佐紀

折り紙で戦闘機折る弟がうちに一番反戦主義者

延岡学園尚学館高等部 2年 帯谷 到子

陰口に聞き耳立ててしまうとき頭蓋に泥の入る感覚

高田高等学校 3年 神田 実咲

月初め英語の時間のペアトークまだまだ遠い大きなリュック

鳥取県立鳥取東高等学校 2年 小谷 美虹

青空を作りたくつて僕はただ空のバケツに顔を突っ込む

神奈川県立光陵高等学校 1年 小林 央奈

ちりとりで取れぬ埃のひとすぢにこの教室を狭しと思ふ

星野高等学校 3年 齋藤 栄

爪切りがどかへいた真夜中のChat GPTはやっしい

高田高等学校 2年 櫻井 つむぎ

神話にはなってないけど僕たちの日々は確かに実在してゐる

宮城県気仙沼高等学校 3年 佐藤 みちる

本日は曇りのち春、氣だるさがほどけた空に花降るでしよう

神奈川県立光陵高等学校 3年 佐野 晃太

小説の表紙を飾る向日葵の孤独 小さく風が吹いてる

神奈川県立光陵高等学校 2年 照田 佳苗

論点の飛躍はよく指摘されます好きです宇宙旅行しましう

仙台市立仙台高等学校 3年 田巻 侑華

個人部門

選者 大森 静佳氏
小島なお氏

逆光のあなたが好きでおはようは踊り場で言う、と、きめている

千葉県立千葉高等学校 3年 土屋沙音

超特価九十円の古本の明朝体を撫でて いる夜

高田高等学校 2年 豊田拳司

木製の海のように軽やかに足音ならして恋は流動

中村 よばん

「死後」という言葉をきみの声で聞きそこから春を覚えていない

横浜市立みなと総合高等学校 3年 成澤 きらり

光あれと神が言つたら光ある そんな単純だから眩しい

名古屋高等学校 3年 福田 匠翔

体重をのせて歩くにふさわしい地をまだ私は見つけていない

つくば開成高等学校守谷校 2年 福田 実紅

スーパーに売られてる肉いつの日かおんなじ空を見た豚かもね

神奈川県立光陵高等学校 1年 真壁 春菜

あたたかな風に吹かれて目を覚ます時計の針がそっぽ向いてる

鳥取県立鳥取東高等学校 2年 升本 實玖

どうしても呼吸をすれば痛かつた夏のくぼみに君は座つて

延岡学園尚学館高等部 2年 森山 文結

チョコレートとグリコのあいだ横切つて私はぼくにさよならを言う

東京都立武蔵高等学校 3年 安田 湖夏

本音って誰かにぶつけるものですか 信玄ソフトのきな粉にむせる

神奈川県立光陵高等学校 2年 柳原 萌々子

雀の子鈴のようなる声であり石器時代の形容詞思う

渋谷教育学園幕張高等学校 2年 矢野 麟太郎

僕はまだ大人の味とか分からんわなすの煮浸し三つもいらん

鳥取県立鳥取東高等学校 2年 山本 峻太郎

赤本に 付箋の花火 咲かせながら 君をしまつて 医者になりたい

鹿児島第一高等学校 3年 吉永 葵

海外のブレスミントを噛み砕くきみの家の町の駅のホーム

広尾学園高等学校 2年 和佐野 花帆